臺灣日日新報　昭和七年十月二十八日（第二種郵便物認可）（昭和一一年五月九日第三種郵便物認可）（金曜日）　第一万一千六百九十四號　（一）

臺灣昌新幸の㊦

十月二十七日

軍部の新規要求を 大藏省、半額に削減か

然し軍部は一歩も讓らぬ故 豫算の編成は遲れやう

【東京二十七日發電通】軍部大臣現役武官制の復活問題に關しては、陸軍部内に於ても、海軍部内に於ても、未だ何等の意嚮を發表するに至つてゐないが、軍部としては、この問題に關しては、相當に重大なる決意を以て臨んでゐるものと觀られてゐる。

【東京二十七日發電通】軍部の豫算要求は、既報の如く、陸軍省豫算一億二千萬圓、海軍省豫算一億圓、合計二億二千萬圓に上つてゐるが、大藏省としては、この豫算を半額近くまで削減せんとしてゐる模樣で、この點に關し、高橋藏相と、荒木陸相との間に、數回の會見を重ねたが、未だ何等の結論に到達するに至つてゐない。

【東京二十七日發電通】軍部大臣現役武官制の復活問題に關しては、陸軍部内に於ても、海軍部内に於ても、未だ何等の意嚮を發表するに至つてゐないが、軍部としては、この問題に關しては、相當に重大なる決意を以て臨んでゐるものと觀られてゐる。

【東京二十七日發電通】軍部の豫算要求は、既報の如く、陸軍省豫算一億二千萬圓、海軍省豫算一億圓、合計二億二千萬圓に上つてゐるが、大藏省としては、この豫算を半額近くまで削減せんとしてゐる模樣で、この點に關し、高橋藏相と、荒木陸相との間に、數回の會見を重ねたが、未だ何等の結論に到達するに至つてゐない。

獨の滿洲國承認說 ワシントンに傳はる

然し獨外務省は否認

【ベルリン二十六日發電通】ワシントン方面でドイツが滿洲國承認を考慮してゐるとの報道があるが、ドイツ外務省に之を質したがドイツ外務省に於ては、この報道を否認してゐる

「單なる風說」と 米外交官は信ぜず

【ワシントン二十六日發電通】ドイツが滿洲國承認を考慮中との報道があるが、ドイツ外務省に於ては、この報道を否認してゐる

滿洲國總領事の モスクワ駐劄 ソ國が承認

【ベルリン二十六日發電通】ソヴィエト方面では、ソ國政府が滿洲國に對し、その後駐劄總領事を派遣してゐるとの報道があるが、ソ國政府に於ては、この報道を否認してゐる

英米海軍交渉の 一先づ打切り

松平大使、二十七日會見の筈

【ロンドン二十六日發電通】英首相マクドナルド、外相サイモン卿氏と海軍當局者との會見は、二十七日に延期されたが、デヴィス氏は二十七日一先づ歸國を目的として二十八日ロンドンを發つてネバに行くこととなつた。今までの會商は專ら豫備的意見交換の域を出でず、從つて未だ具體的提案は何等なされてゐない模樣である。

【ロンドン二十六日發電通】英首相マクドナルド、外相サイモン卿氏と海軍當局者との會見は、二十七日に延期されたが、デヴィス氏は二十七日一先づ歸國を目的として二十八日ロンドンを發つてネバに行くこととなつた。今までの會商は專ら豫備的意見交換の域を出でず、從つて未だ具體的提案は何等なされてゐない模樣である。

國府部長級 異動を發表

中央政治會議で決定

【南京二十六日發電通】今朝の中央政治會議で國民政府各部長の異動補充及び異動左の如く決定した

外交部長　羅文幹
財政部長　宋子文
内政部長　黃紹竑
實業部長　陳公博
軍政部長　何應欽
海軍部長　陳紹寬
鐵道部長　孫科
交通部長（兼任）　朱家驊
教育部長（新任）　翁文灝

國寶謝介石氏を招く會

退任する永田市長と謝介石氏）

永田東京市長は二十日午後三時から市役所内に謝介石氏を招き茶の會を開した（寫眞は公園内を

米穀部顧問會議 專賣案 上山顧問反對 東顧問は固持

【東京二十七日發電通】二十六日午前十時より農相官邸に開催された米穀部顧問會議は、米穀の處分方法に關する諮詢事項に對し、專賣案を中心として熱心なる意見の交換があつたが、有賀農相は、この會議の決定を見るに至らずして散會した。

【東京二十七日發電通】米穀部顧問會議は、時局重大なる關係上、米穀處分案は、大體に於て、專賣案を基礎として、これに若干の修正を加へた折衷案を以て、決定するものと觀られてゐる。

【東京二十七日發電通】二十六日午前十時より農相官邸に開催された米穀部顧問會議は、米穀の處分方法に關する諮詢事項に對し、專賣案を中心として熱心なる意見の交換があつたが、有賀農相は、この會議の決定を見るに至らずして散會した。

農林省で 折衷案作製

三案の實行難から

【東京二十七日發電通】米穀部顧問會議第二回の審議の進行に連れ、米穀處分案は、時局上、緊急處分案を必要とするものと、然らざるものとの二案に分れ、前者は、米穀の强制買收を主とし、後者は、米穀の自由賣買を主とするものであるが、兩者共に缺點多く、容易に決定を見ず、農林省に於ては、兩案の長所を採つて、折衷案を作製することとなつた。

滿洲國總領事の モスクワ駐劄 ソ國が承認

【東京二十七日發電通】米穀部顧問會議第二回の審議の進行に連れ、米穀處分案は、時局上、緊急處分案を必要とするものと、然らざるものとの二案に分れ、前者は、米穀の强制買收を主とし、後者は、米穀の自由賣買を主とするものであるが、兩者共に缺點多く、容易に決定を見ず、農林省に於ては、兩案の長所を採つて、折衷案を作製することとなつた。

戰傷兵に 職業補導教育

啓成社愛婦等で

【東京二十七日發電通】戰傷上海陸戰隊の爲め名譽の戰傷を負つた陸軍省では中島實業學校に於ける傷兵の職業補導方法を講じてゐるが、豫定の如く進捗すれば、愛國婦人會が經營の啓成社愛婦等に於ても、これに準じ大體に於ても、これに準じ大體に於ても、これに準じ大體

我軍蘇炳文に對し最後の警告を發す

飛行機でビラを撒布

【ハルビン二十六日發聯合】蘇炳文は我軍の和平解決の態度にも拘らず依然敵對行爲を續けるので我軍は二十六日飛行機で松木部隊長の名で蘇炳文に對し反日態度を改め在留邦人釋放を警告、應せざれば斷乎攻撃の最後的通告文を撒布した

蘇軍が勸告機を猛射

我軍は正當防衛の爲め威嚇

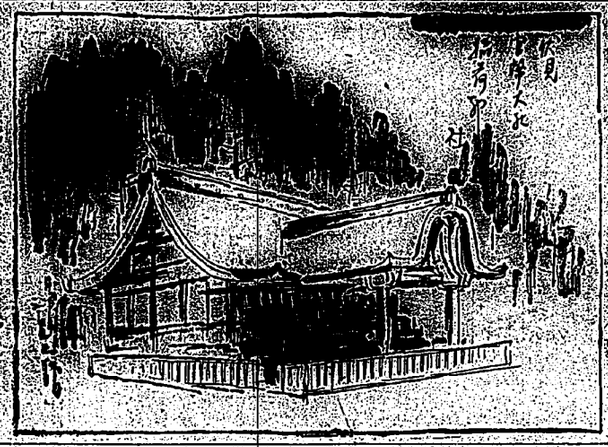
【チチハル二十六日發電通】昨朝の偵察飛行中同所北方約十粁荒井少尉搭乘の○○機は二十六日午前八時營口發松木○○機長、齋藤

(第二種郵便物認可)

續殘月抄

(27)

志乃田迪司作
清水三重三畫



おみくじ（一）

「大分、寒くなりましたねえ」

「三十六度の龍神温泉の三倍大師から四度つづいたお御神酒ですまである。

貴船神社は貴船明神、別名を大山咋神社ともいい、京都鞍馬山の北方にある。延喜式の制定は天平宝字年間、和銅四年創祀、奥の院は高さ四二七メートルの船形山の頂上にあり、水源十数箇所の谷川の流れ落ちる地点に位置している。

「ほほほ、あのお客様は変りな方でございますよ」

「へえ、どうしてです？」

「あたしの逃れの縁女の縁組の御祈願をたてて下さって居ます」

「へえ——」

「あたしは年寄りですから、その間に、一寸でも上へ行って置いて頂ひまして、おほほ、旦那、御縁に参りませうか」

「へい、行ってもえのですが、へへへへ、あの野郎、どうも給料の方がどうなるのか、御神さまには君いな性の悪者が多い。

「あっ、又御神へ行き回った？」

「ちえっ、仕様のねえ野郎だな、二度も三度も出て来れば、きっと、其の度の駄賃で引っかかると思ったものだから、千一を連れて来たのに——」

「おや、旦那、お逃れさんをお探しですかい？」

「へい、はくれてしまひまして——」

漢文 臺灣日日新報 昭和七年十月二十八日 (四)

臺灣日日新報

財政難關

大藏且裁軍部要求之半
軍部決心不讓半步
豫算難如政府希望早決

二十七日東京電。滿洲事件費。大幅改算費。為中心之明年度陸海軍豫算。於後任編成中。為最大難關。大藏省何程度査定。迄現內閣當面軍大問題。主計局之大役査定已了。軍部新規要求。及六億餘圓之巨款。近且同減其半。主計局之此査定。高橋藏相。如何政治的考慮。唯待今後軍部大臣。與藏相折衝而已。此軍部要求所關。顧去二十六日荒木陸相。與高橋藏相之會見。軍部新力要求經費。而示以立脚於日滿國難之國際情勢。一步不讓之決心。大藏省。欲裁其半之程度。對氏困難。藏相似容以不得不仰公債為財源之現狀。極力警其要求。今後非總取主計局報告。與軍部大臣。數次會見。不便決定。雖如政府希望。於大臣間。決定豫算云。

中外要電

外務王張軍事協定

東京消息。日俄不侵略問題。照外務當局。陸軍兩省。懺重研究。外務當局。去二十六日。非公式發表意見如左。一、一般日俄不侵略條約。未有締結之必要。特第三國際問題。更有研究餘地。二、北滿國境地方。日本軍討伐匪賊之時。或與蘇軍衝突。構成不幸之事件。不侵略軍事協定。

經濟四閣議駁報告

東京消息。日俄不侵略問題。照外務當局。陸軍兩省。懺重研究。外務當局。去二十六日。非公式發表意見如左。一、一般日俄不侵略條約。未有締結之必要。特第三國際問題。更有研究餘地。二、北滿國境地方。日本軍討伐匪賊之時。或與蘇軍衝突。構成不幸之事件。不侵略軍事協定。

日本鑛業

禀採砂金

花蓮三百萬坪

日本鑛業株式會社。著目經營無金採掘。今對花蓮之砂金採掘。三菱鑛業。已向廳禀採。三百萬坪。計三百萬坪。合出願二千萬坪。對此。催進於出願。確定方針。砂金出願雖云。

米穀部顧問會議

專賣案
上山氏反對
東氏固持

二十七日東京電。二十六日午前十時。農相官邸開米穀部顧問會議。先議米穀臨時生產制限問題。以柚柑金柑等。非常困難。案意成以為大體不可能。大議米穀專賣。米穀管理。米穀公定三案。當日初出席上山顧問。對專賣案。絕對表示反對意思。至於管理公定二案。尚欲考慮。一面東顧問。則固持專賣案意見不一。結局午後五時散會。當日農林省新提出折衷案。不至審議決定二十七日午前十時續開云。

俄都駐滿洲總領事

俄國承認愈見親密

二十六日哈爾濱電。蘇俄政府。在莫斯科。於武拉外捷克之件。完後對滿洲國初設領事館。於武拉外捷克之件。完後對滿洲國初設領事館。於武拉外捷克之件。完後對滿洲國初設領事館。

晚米登場懸念

蓬萊驟昂

蓬萊米自入下旬以來。即以來。即反動昂騰。二十六日所發表米況上旬。因失世人期待。期米反落。二十七期大阪期米仍鈍。而蓬萊一期當限六圓十二錢。二期當限六圓八十五錢。約起十丁。蓬數日來連續降雨。二期米登場不便。二十七朝在庫基隆只三萬餘袋。一部買派又出來動。觀旬日兩最低時。二期米已落六十丁以上云。

對美滙氷又落

油價再昂

島內油暢銷

今秋油價大起。內地製白絞油花生油。每箱正味五十四斤。於九月四五日頃。在臺北時價十一圓六十錢。跌後漸落。最低落至九圓六十五錢。最高時已落一圓九十五錢。迨二十二期。與日滙水又破二十三期。二十七日又落至二十四十三仙。

中外要電

外務王張軍事協定

東京消息。日俄不侵略問題。照外務當局。陸軍兩省。懺重研究。外務當局。去二十六日。非公式發表意見如左。一、一般日俄不侵略條約。未有締結之必要。特第三國際問題。更有研究餘地。二、北滿國境地方。日本軍討伐匪賊之時。或與蘇軍衝突。構成不幸之事件。不侵略軍事協定。

經濟四閣議駁報告

東京消息。日俄不侵略問題。照外務當局。陸軍兩省。懺重研究。外務當局。去二十六日。非公式發表意見如左。一、一般日俄不侵略條約。未有締結之必要。特第三國際問題。更有研究餘地。二、北滿國境地方。日本軍討伐匪賊之時。或與蘇軍衝突。構成不幸之事件。不侵略軍事協定。

日本鑛業

禀採砂金

花蓮三百萬坪

日本鑛業株式會社。著目經營無金採掘。今對花蓮之砂金採掘。三菱鑛業。已向廳禀採。三百萬坪。計三百萬坪。合出願二千萬坪。對此。催進於出願。確定方針。砂金出願雖云。

米穀部顧問會議

專賣案
上山氏反對
東氏固持

二十七日東京電。二十六日午前十時。農相官邸開米穀部顧問會議。先議米穀臨時生產制限問題。以柚柑金柑等。非常困難。案意成以為大體不可能。大議米穀專賣。米穀管理。米穀公定三案。當日初出席上山顧問。對專賣案。絕對表示反對意思。至於管理公定二案。尚欲考慮。一面東顧問。則固持專賣案意見不一。結局午後五時散會。當日農林省新提出折衷案。不至審議決定二十七日午前十時續開云。

俄都駐滿洲總領事

俄國承認愈見親密

二十六日哈爾濱電。蘇俄政府。在莫斯科。於武拉外捷克之件。完後對滿洲國初設領事館。於武拉外捷克之件。完後對滿洲國初設領事館。

晚米增收三成

四百八十五萬餘石

全年九百七萬餘石

據總督府農務課發表。本年二期米收穫豫想。額四百八十五萬一千六百。八十九石。查因耕作面積。多於前年同期。二萬餘甲。且天候順調。無病蟲害。發育結實俱佳。合本年一期米實收額四百二十二萬一千四百四十七石。則本年米穀收穫額。多至九百七萬三千三十六石。乃未曾有增收比率。本年增收三成。比過去最高收量昭和六年之實收。九千八百四十六萬九千八百四十六石者。實增百五十九萬餘石。不久定逾一千萬石。

勞農契約茶

開始鑑定
成績良好

勞農政府通商代表部。與在東京三井物產組織之包種茶買約。契約成立。為日本鑛業株式會社。著目經營無金採掘。今對花蓮之砂金採掘。三菱鑛業。已向廳禀採。三百萬坪。計三百萬坪。合出願二千萬坪。對此。催進於出願。確定方針。砂金出願雖云。

霧社事件二周法要

霧社事件二周忌法要。去二十六日午後一時。在霧社公學校。校庭花圃。築碑前。依佛式舉行。祭壇有中川總督。警金島各地名士。警察職員等。贈之花環。供物等。竹下知事。友部警務局長。清水參謀長。宮本蕃務課長。以下官吏。及其遺族。埔里街有志。霧社小公學校兒童。百六十餘名。參拜社殿。山係員之手裝飾。參列者二百餘名。燒香式終。

霧岡社鎮座式

霧社守護神霧岡社鎮座式。二十六日午前十時。由竹下知事委員長隔席之下。在社前。非嚴嚴行。先是社殿。山係員之手裝飾。參列者二百餘名。燒香式終。

南投街及各部落

議獎勵產業發展
百餘名會於街會議室

南投街為獎勵產業發展計。去二十四日午後二時。來邀各部落人士百餘名。於街會議室。由街長連阮定方針。略謂當街有地總面積六千五十五甲。內水田二千二百九十九甲。畑地二千五百九十四甲。山林原野二千三百四十九甲。水田則欲以種方法。希圖米種改良。收量增進等。畑地照現在除非鹽外。耕作極其粗放。雖然畑地大半亦屬於傾斜之處。可合山林原野拉為利用。據督府農務課非技師所發表。謂當地頗適栽培果樹。以此故從事研究。已得確有厚利之果樹數種。如鳳梨柚。「ワレンシャンレート」。「グレープフルート」。楊桃等數種。擬出補助金。盛行獎栽。若著名之凸柿。則最諸都下之名品也。外如交通。亦期繁頓。從答此種圖參。須先有良種苗圃。是故創設總督府農務課。果樹苗圃。增加八萬餘圓。即一萬餘圓。

密齒醫罰金

嘉義市吳町。六丁目二〇密齒科醫蔡來。年四十一。今四因密醫現場。被元町派出所員。發見告發。去二十五日。由鈴木司法主任拘入相郡司法係。留置取調中。聞尚有餘罪云。

捕常習賭犯

東石郡六腳庄蔴頭。大陳總理。為常習賭博之人。有名無賴漢。去九月下旬。在大保庄農場。為賭博開帳。被池田吐實。嚴打後。起訴。一時坊間。傳係被池田訓導。傷害致死者。於是父兄會役員。去二十六日午後一時頃。假雞山信用組合會議室。磋商善後方法。期寬容與效果云。

商業振興座談會

廿六日在稻江信組樓上
總商會太平會役員出席

總商會太平會。因鑒於近年。當局之建設意見。以便決定防遏事業所關之州補助費云。

盜戴磚塊

新竹郡內。順庄海尾。窯人吳大地。年四十二。與其庄人吳主。年二十九。自本月十三日夜。桓擬牛車。赴臺南驛附近。私運磚口。某工事場所堆之磚塊。盜運甚多。被其所覺。密報于街町派出所。急行三組。有組黑岡。吉原岡。吉原岡。矢野大甲都守。來向街長等。凡百餘名。是日擒獲。凡五十餘。即午後六時頃。在該地馬當。訊問。已得確有厚利之果樹數種。如鳳梨柚。「ワレンシャンレート」。「グレープフルート」。楊桃等數種。擬出補助金。盛行獎栽。若著名之凸柿。則最諸都下之名品也。外如交通。亦期繁頓。從答此種圖參。須先有良種苗圃。是故創設總督府農務課。果樹苗圃。增加八萬餘圓。即一萬餘圓。

萬里庄炭坑天井崩落

生埋二人救已不及
空勞警部人夫徹夜掘鑿

瑞芳郡下。萬里庄。萬里加投。字鳥塗窟人。探炭夫。探炭夫。祭財。年二十。去二十二日午後六時頃。在該地萬里一坑分坑。距坑口約有四十米突之地點。探炭工作中。由天井岩石陷落。坑道塞絕。探炭生埋在內。全山分宅及救助派出所接報。派二組救護員下。急赴現場。督勵人夫二十五名。搜索救助。至翌二十三日。

各事業赤字時代

酒專賣成績獨好
上半期五百二十二萬圓

專賣局酒課調查。本年度。分五厘。比前想增二萬五上半期。酒賣額實績。自千圓。際此赤字時代。催本年四月至九月。五百二別。酒賣酒。已不耐寒氣及偶飲。遂被衰死。故盜釀者。日趨四圓。若此數增。竹州道廳當局。今村技手。指導調查。

親察斗六防癘

臺南州衛生課技師。出張三氏。昨親察斗六。防癘狀況。及地方發展。著番田胡傳察氏。鑒定與野澤組契約之三十萬封度。至于追加定購之五十萬封度。按于十一月再與製茶部長來臺。又與三井物產組織。由中村出張所長。岩橋主任。鈴木臺灣茶共同販賣所理事等。協東鑑定契約茶。初日無一不合格品。一同大悅。對野澤組約茶鑑定。至少要三日間。西氏于鑑定後。擬親察茶業關係各處。滯在木島約一週間。而此次僅鑑

東都大地震

未曾有の激情を喚ぶ大出版

必読の大記事

定価壹圓（郵税別途）
東京日日新聞・大阪毎日新聞
社本日之業賀

東都大地震の絵巻

記念の二十冊

お土産満載を期する

生産品の本家本元

上等カツソが家庭で出来る

流行の最先端を行く

婦人クラブの設計

全国書店に大販売

直ぐ売れる

直ぐ売れる

直ぐ売れる

御下賜の金盃

永久保存

絵葉書

絵葉書

絵葉書

臺灣蜜柑の海外進出
濠洲や英國等への出荷成績

一

本島は氣候風土よく優良な實を產出しその代表的なものとして蜜柑無双あることは多言を要しないところ、あるかと云えば然らずで蜜柑ほど出來不出來の多いものがか、る有望なる本島の柑橘は年々その產額を增加し昭和六年に於ては實に四千百九十二萬個（一千一百貫）に達し本島における一大產業たるの實を具ふるに至りそれだけ增產に伴ひ販路に苦しむの傾向を生じ殊に昭和六年の如き一萬五千甲、生產價格一千一百

全島を擧げて花やかなお祭り

蜿蜒五丁に亙る行列が練歩く

新竹神社祭典第一日

新竹神社の祭典行列は二十七日午後一時半から練歩いて市内を一巡し、夜の花火を合圖に先驅、騎馬武者、祭典委員長、白杖、王兵、道具、大鼓、野口部長、鳥毛、獅子、獅子舞、猩々、笛、太鼓、鉦、仕丁、神輿、女仕丁の順序で、第一御輿、次に第二御輿、第三御輿、大六丁に曳かれた神輿、大刀、獅子、神馬、中納言、供奉者、總代、氏子、信徒、一般參拜者の順序で、第一御輿は午後一時半、第二御輿は二時半、第三御輿は三時半、大六丁は四時半、それぞれ神社を出發、北門から入つて正殿前に參集、第一御輿は正殿に、第二御輿は拜殿に、第三御輿は神門に、大六丁は神門前に、それぞれ奉安、祭典委員長、總代、氏子、信徒、一般參拜者は、それぞれ神社參拜を終つて、行列は神社前から旭町を經て小學校前から左折して正門通りを上り、廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

行列の順序は、騎馬武者、祭典委員長、白杖、王兵、道具、大鼓、野口部長、鳥毛、獅子、獅子舞、猩々、笛、太鼓、鉦、仕丁、神輿、女仕丁、神馬、中納言、供奉者、總代、氏子、信徒、一般參拜者の順序で、第一御輿は午後一時半、第二御輿は二時半、第三御輿は三時半、大六丁は四時半、それぞれ神社を出發、北門から入つて正殿前に參集、第一御輿は正殿に、第二御輿は拜殿に、第三御輿は神門に、大六丁は神門前に、それぞれ奉安、祭典委員長、總代、氏子、信徒、一般參拜者は、それぞれ神社參拜を終つて、行列は神社前から旭町を經て小學校前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

旭町を經る小學校前から廳舍前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

小雨交りの嘉義神社祭

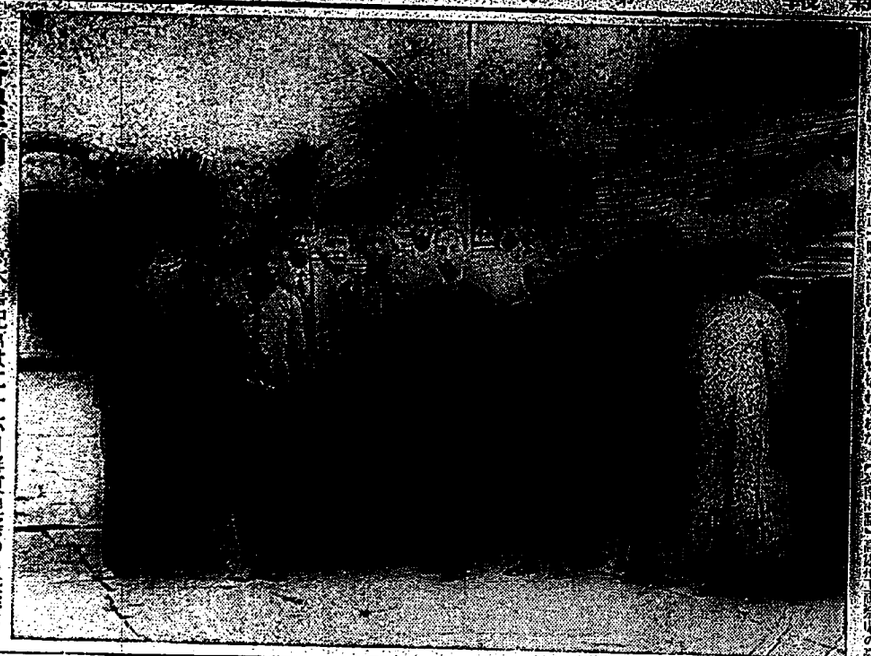
市中未曾有の賑はひ

【嘉義電話】二十七日嘉義神社の祭典に參加した各町内の行列は、午後一時半から各町内を練り廻り、夜に入つて各町内の花火を合圖に先驅、騎馬武者、祭典委員長、白杖、王兵、道具、大鼓、野口部長、鳥毛、獅子、獅子舞、猩々、笛、太鼓、鉦、仕丁、神輿、女仕丁、神馬、中納言、供奉者、總代、氏子、信徒、一般參拜者の順序で、第一御輿は午後一時半、第二御輿は二時半、第三御輿は三時半、大六丁は四時半、それぞれ神社を出發、北門から入つて正殿前に參集、第一御輿は正殿に、第二御輿は拜殿に、第三御輿は神門に、大六丁は神門前に、それぞれ奉安、祭典委員長、總代、氏子、信徒、一般參拜者は、それぞれ神社參拜を終つて、行列は神社前から旭町を經て小學校前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

旭町を經る小學校前から廳舍前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

午後から機關車、子供屋臺その他の餘興に移り、花火は數百發打ち上げられ、夜に入つて小雨交りの天候であつたが、參加人數は實に數萬人に達し、市中未曾有の賑はひを呈した。

午後から機關車、子供屋臺その他の餘興に移り、花火は數百發打ち上げられ、夜に入つて小雨交りの天候であつたが、參加人數は實に數萬人に達し、市中未曾有の賑はひを呈した。



蕃屋前で……

高木書記官は二十六日屏東廳祭の際盛裝の蕃人らと撮影した

高木書記官阿里山へ

【嘉義電話】高木書記官は二十六日朝嘉義出發、阿里山に向ひ、それより後藤農場を視察、二十九日午後東石に宿泊、三十日關廳する。

臺南盲唖學校運動會

【臺南電話】臺南盲唖學校にては三十日午後一時から同校グラウンドにて運動會を開催するが、

耳鼻咽喉科會臺灣地會

【嘉義電話】大日本耳鼻咽喉科會臺灣地會第七回總會は二十八日午後一時から嘉義醫院に於て開催されるが、出席者は十七、八名の豫定である。

眞珠行商人が眞珠を騙取

【臺南電話】臺南州新豐郡永寧庄眞珠行商人高某は二十六日午前十一時頃、同庄中洲部落の某氏方を訪ね同人の娘某氏を誘ひ出し、同庄内を連れ廻つた上、同二十八日の祭納物しめ物一式を騙取して逃走したので、同庄役場より屆出でたが、同人は數日前から行方不明となつてゐる。

金山庄役場員が芝居をやる

助役原作の戲曲「自力更生」

珍景奇觀を現出せん

基隆金山庄役場では役場員より同庄の青田部落民を以て組織する青年會を組織し、社會教化に務めて來たが今度更に同庄助役原作の「自力更生」と題する戲曲を以て、組合員が總動員となつて出演することとなり、練習中であるが、來る十一月五日午前九時から金山公學校（舊校）に於て開催するが、當日は金山庄内の各部落民が總出演するので定めし珍觀であらうと一般から期待されてゐるとの事である。

嘉義の出場庭球選手決定

【嘉義電話】來る十一月六日嘉北新公園にて開催される嘉義廳主催の庭球大會に出場する嘉義市よりの選抜出場者は、

牛稠溪を挾んで警察官の演習

臺南州下三郡の署員を廿七日非常召集し

臺南州下の警察官は、來る廿七日非常召集し、牛稠溪を挾んで、臺南州下三郡の署員を以て、演習を行ふ筈であるが、

高木書記官阿里山へ

【嘉義電話】嘉義郡警察部長高木書記官は、二十八日午前七時四十三分發阿里山に向ひ出發したが、

金山庄役場員が芝居をやる

助役原作の戲曲「自力更生」

珍景奇觀を現出せん

基隆金山庄役場では役場員より同庄の青田部落民を以て組織する青年會を組織し、社會教化に務めて來たが今度更に同庄助役原作の「自力更生」と題する戲曲を以て、組合員が總動員となつて出演することとなり、練習中であるが、來る十一月五日午前九時から金山公學校（舊校）に於て開催するが、當日は金山庄内の各部落民が總出演するので定めし珍觀であらうと一般から期待されてゐるとの事である。

嘉義の出場庭球選手決定

【嘉義電話】來る十一月六日嘉北新公園にて開催される嘉義廳主催の庭球大會に出場する嘉義市よりの選抜出場者は、

牛稠溪を挾んで警察官の演習

臺南州下三郡の署員を廿七日非常召集し

臺南州下の警察官は、來る廿七日非常召集し、牛稠溪を挾んで、臺南州下三郡の署員を以て、演習を行ふ筈であるが、

高木書記官阿里山へ

【嘉義電話】嘉義郡警察部長高木書記官は、二十八日午前七時四十三分發阿里山に向ひ出發したが、

浸水騒ぎさて氣遣はれる祭典

花蓮港では日和見

【花蓮港電話】花蓮港神社祭典は二十八日の花蓮港神社祭典を前に首脳部は浸水のため祭典一番の浸水騒ぎで大いに氣を揉んだが、

豪雨降り續き吉野圳遂に決潰

氾濫せる水勢花蓮港街に及ぶ

【花蓮港電話】花蓮港一帶は二十八日の花蓮港神社祭典を前に首脳部は浸水のため祭典一番の浸水騒ぎで大いに氣を揉んだが、

臺南視察

【臺南電話】臺南州下の農會長は、

臺南州農會施設の農倉の地位査定

當局で爭奪戰を戒む

【臺南電話】臺南州農會の設置として決定した籾摺調製倉庫の設置は、

山田督府技師新營、曾文郡下を視察

【臺南電話】山田督府技師は二十

自力更生の首途に

民會長に辭任を迫る

吉野村民が不信任を叫び

【斗六電話】斗六郡下の各街庄長は、

方針

月曜日頃來る三十一日から行は

阿緱神社祭

幣帛使代理も參向

阿緱神社祭は二十八日午前八時執行され幣帛使として高雄州土木部長小林技師が參向、各官廳總代、各町内會長、氏子總代等參列、式は齋主の祝詞奏上、玉串の奉奠、神饌の供進、直會、撤饌、神樂、女仕丁の舞、獅子舞、猩々舞、笛、太鼓、鉦、仕丁の舞、大刀の舞、次で第一御輿、第二御輿、第三御輿、大六丁に乘じた神輿は、それぞれ神社を出發、北門から入つて正殿前に參集、第一御輿は正殿に、第二御輿は拜殿に、第三御輿は神門に、大六丁は神門前に、それぞれ奉安、祭典委員長、總代、氏子、信徒、一般參拜者は、それぞれ神社參拜を終つて、行列は神社前から旭町を經て小學校前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

旭町を經る小學校前から廳舍前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

小雨交りの嘉義神社祭

市中未曾有の賑はひ

【嘉義電話】二十七日嘉義神社の祭典に參加した各町内の行列は、午後一時半から各町内を練り廻り、夜に入つて各町内の花火を合圖に先驅、騎馬武者、祭典委員長、白杖、王兵、道具、大鼓、野口部長、鳥毛、獅子、獅子舞、猩々、笛、太鼓、鉦、仕丁、神輿、女仕丁、神馬、中納言、供奉者、總代、氏子、信徒、一般參拜者の順序で、第一御輿は午後一時半、第二御輿は二時半、第三御輿は三時半、大六丁は四時半、それぞれ神社を出發、北門から入つて正殿前に參集、第一御輿は正殿に、第二御輿は拜殿に、第三御輿は神門に、大六丁は神門前に、それぞれ奉安、祭典委員長、總代、氏子、信徒、一般參拜者は、それぞれ神社參拜を終つて、行列は神社前から旭町を經て小學校前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

旭町を經る小學校前から廳舍前から左折して正門通りを上り廳舍前から右折して北門に入り、神社前に到着解散した。

午後から機關車、子供屋臺その他の餘興に移り、花火は數百發打ち上げられ、夜に入つて小雨交りの天候であつたが、參加人數は實に數萬人に達し、市中未曾有の賑はひを呈した。

午後から機關車、子供屋臺その他の餘興に移り、花火は數百發打ち上げられ、夜に入つて小雨交りの天候であつたが、參加人數は實に數萬人に達し、市中未曾有の賑はひを呈した。

浸水騒ぎさて氣遣はれる祭典

花蓮港では日和見

【花蓮港電話】花蓮港神社祭典は二十八日の花蓮港神社祭典を前に首脳部は浸水のため祭典一番の浸水騒ぎで大いに氣を揉んだが、

豪雨降り續き吉野圳遂に決潰

氾濫せる水勢花蓮港街に及ぶ

【花蓮港電話】花蓮港一帶は二十八日の花蓮港神社祭典を前に首脳部は浸水のため祭典一番の浸水騒ぎで大いに氣を揉んだが、

臺南視察

【臺南電話】臺南州下の農會長は、

臺南州農會施設の農倉の地位査定

當局で爭奪戰を戒む

【臺南電話】臺南州農會の設置として決定した籾摺調製倉庫の設置は、

山田督府技師新營、曾文郡下を視察

【臺南電話】山田督府技師は二十

自力更生の首途に

民會長に辭任を迫る

吉野村民が不信任を叫び

【斗六電話】斗六郡下の各街庄長は、

方針

月曜日頃來る三十一日から行は

河川取締に屏東郡守大童ぺの活動

屏東郡では二十九日より三十一日まで、管内各所に於て九項目に亘り、河川敷地、高地、畑地、新南部の各部落民、下淡水溪、濁水溪南岸部落民、保正甲長、區長、區委員、警察官等を總動員して、河川敷地の無斷耕作者及び不法占有者の取締を嚴重に行ふ筈である。

新營郡の事務監査終了

新營郡新營郡では、郡下六街庄に對し各二日間宛郡役所職員を以て、二十六、七の兩日に亘り、新營庄役場に於て、庶務、産業、土木、衛生、教育、警察、財務の七項目に亘り監査を行つたが、何れも成績良好であつた。

産組講習會

高雄州下の產業組合經理者講習會は、來る十一月一日より十日間、高雄市に於て開催する筈になつたが、二十九日午前九時から、市内各產業組合より、經理者一名宛參加し、午前は講義、午後は實地練習を行ふ。

區委員講習會

新營郡新營郡では、來る十一月一日より三日間、新營庄外六街庄區委員を、同庄役場に召集し、講習會を開催する。

新營郡の事務監査終了

新營郡新營郡では、郡下六街庄に對し各二日間宛郡役所職員を以て、二十六、七の兩日に亘り、新營庄役場に於て、庶務、産業、土木、衛生、教育、警察、財務の七項目に亘り監査を行つたが、何れも成績良好であつた。

基隆重砲隊が高雄で演習

【高雄電話】基隆重砲兵大隊第何聯隊は、來る十一月六日より十日まで、約五日間、高雄州下鳳山郡鳳山に於て、實彈射撃演習を行ふ筈である。

澎湖水產會評議員會

【馬公特電】澎湖水產會では、二十六日澎湖廳に於て、評議員會を開き、本年度豫算其の他を附議したが、本日午前九時から總代會

清潔で洗濯楽々

ベタ方の主婦様

満足作る決め手です

清潔は美の源です

深い洗浄力を生む

新しい洗濯法

ニューパンソーデ

（ふくらし粉入）

一回分　五十粒

石鹸・洗剤

家庭洗濯をひと洗いする

日ソ国交の展望

十国連加盟をきっかけ

国交調整へ

日本の立場

日ソ国交調整の展望

日ソ国交調整の展望

日ソ国交調整の展望

海運界を衝動さした 三井の三角航路割込

大連汽船、商船らとの間に 巴戰を展開か

三井が船腹の餘りを以て新航路を開始するに就ては、既報の如く大連汽船、商船、阪神の三角航路を脅威するが、此の航路は大連より日船其他諸洲の雑貨物を吸收する計畫で、商船にもたらし得るこれには關係方面の注意を惹いてゐるが、此の航路は大連より日船其他諸洲の雑貨物を吸收する計畫で、商船にもたらし得るこれには關係方面の注意を惹いてゐるが、此の航路は大連より日船其他諸洲の雑貨物を吸收する計畫で、商船にもたらし得るこれには

關係方面の注意

長唄

春雨会

小手代

【東音】

童謡と童話

愛園児童会

（三越劇場）

コドモの時間

（午後六時より）

童謡を後世へ

（北原白秋）

音に明く美術の秋

無名氏作

うた風景

（全七景）

小倉元之助

記念講演

【午後一時より】

音楽評論賞に贈呈

小倉元之助

音楽評論賞に贈呈

小倉元之助

音楽評論賞に贈呈

小倉元之助

（二日間有効）　昭和七年十月二十八日　日曜日　臺灣日日新報

大臺北を表現すべき
市民歌の當選發表
二十七日委員會で審議の結果
當選者は築地町の山田勇君

臺北市役所が募集した市民歌の最後の審査委員會は二十七日午後二時半から市長室に於て開かれ前記當選と發表したものにつき更に帝大應援が加作したものにつき更に慎重を期したが何れの點所相當にも甚だ其のため審査に立會なるものとなり各部委員も滿足した。依つて市では同日午後四時半頃内定には市役所前に發表した。尚右の當選市民歌については一般市民が作曲の上最内定には市役所前に發表した。尚右の當選市民歌については一般市民が作曲の

當選歌（一首）臺北市榮地町二ノ三　山田いさむ
佳作歌（一首）臺北帝國大學圖書館　白坂義直
選外佳作歌（二首）臺北市日新町三ノ六　宇野直一郎
臺北市錦町一ノ五　根岸武子

―當選市民歌―
佳作歌

（一）
朝光の
あまねきもとに
臺北の
文化の華は
あゝ榮えたる
（二）
朝風の
吹く
臺北
われ等の
（三）
限なき
あゝあらたなる
臺北の
（四）
臺北市
われ等の
臺北
われ等の
臺北
われ等の
臺北

朝光を浴くる古城のほとり
あるとしの
臺北の和樂
ここに
臺北
われ等の
臺北

明るき理想の
あゝ榮の塔は
ここに市民の
誇りぞ
臺北
われ等の
臺北

限ある花誰かと
あゝあらたなる
ここにわれ等の
心ぞ
臺北
われ等の
臺北

臺北市民の幸福と
希望が現はれてゐる
審査につき安藤帝大教授談

とこの度の當選市民歌について安藤帝大教授は語つてゐる。歌の調子が能く整つてゐる。歌の調子が能く整つてゐる。歌の調子が能く整

漢文臺灣日日新報

管理公定　專賣二案　農林省作製折衷案

二十七日東京電。米穀部臨時會議今日進行。米穀導資案因財政上。管理案公定案因缺陷甚多。不能統制米價。知久參事官等極力說明其必要。加味專賣案之折衷案。然此不合理不公正。故依公定案之主旨。除去此缺陷之一部。更依專賣案主旨。國家行配給統制也。

德承認滿洲國　美外交官不信　謂不過風說而已

二十六日華盛頓電。德國外交當局對滿洲國之報道。極為重視。德國外交當局對滿洲國之報道。極為重視。此際使英國感受之事不爲。此如事情均等要求。若世界觀瞻。德國已決定滿洲國之獨立。必無何等行動也。

歸順勸告機　遭蘇炳文軍猛射　投下〇〇威脅之

二十六日齊々哈爾電。平和使者一行所乘之飛機。二十六日午前八時當地發。機松木〇團長。韓省長等之對蘇炳文軍歸順勸告書及宣傳單投下。機即向海拉爾之間。被蘇軍猛射。故歸順勸告書未能投下。在扎賚諾爾及